

兵庫県内で3ヶ所目となる伊丹展示場をオープン

注文住宅「大収納のある家」は、震度7を3回被災しても損傷のない「新世代ハウス」

日本の住まいを安くするというミッションを掲げて住宅の適正価格化に挑戦し、全国に販売エリアを拡げている株式会社アキュラホーム(本社:埼玉県さいたま市、社長:宮沢俊哉)は、関西エリアでの販売を強化するために好評の明石、姫路展示場に次いで兵庫県内で3ヶ所目(全国24ヶ所目)となる伊丹展示場(モデルハウス)を1月28日(土)にオープンしました。展示場ではオープン記念イベントとして、2月末までにご成約の方を対象とした「新春ドリームフェア」を開催して、「選べる特典アイテム」をプレゼントしています。

このモデルハウスは、弊社の自由設計住宅建築のノウハウを活かし、1階と2階の間の空間を活用して、大きな荷物もたっぷりしまえる物置サイズの収納空間を備えた「大収納のある家」をベースにしています。住む人にとり、収納スペースはいくらでも欲しいものです。敷地に対して建物の大きさは法律で規制されているため、床面積に算入されない広大な収納スペースを可能とした「大収納のある家」は、都市部での住宅需要に従来の建物よりも有利な空間を提案できます。「大収納のある家」は昨年9月に発売されたアキュラホームの新商品です。価格は大手ハウスメーカーによる同様の商品に比べて3分の2程度の、坪35.8万円からという業界でも最低の価格帯を実現しています。



写真データは下記URLよりダウンロードできます
URL : <http://www.aqura.co.jp/news.html>

開放感いっぱいの「大収納のある家」

伊丹展示場は、夏涼しく、冬温かな次世代省エネ仕様にオール電化設備をプラスし、快適・省エネ性をさらに向上させた住宅となっています。1階と2階の間にある大収納は、高さ1.4m・約15.4帖の空間を実現。季節モノや思い出の品など、家の中にある「頻繁に使わないモノ」をまとめて収納できるので、家中がすっきりキレイに片付きます。さらに高さ3.8mの吹き抜け大空間リビングを備えた約30帖のLDKは、南側と北側にある幅4mの大型フルオープンサッシがとびきりの開放感を演出、家族がふれあう空間作りを大切にしたい住まいです。外観は大きな葺き下しの切妻屋根とオールタイル貼りの外壁が日本の街並みに調和するモダンな佇まいを表現しています。

大収納が実現する快適な住環境

天井の高い吹き抜けリビング(天井高最大3.8m)は窓を大きくとることができるので、光をたくさん取り込める上、風通しも良くなります。また、中2階にある「大収納」スペースが緩衝帯の役割を果たすので、2階の音が1階に伝わりにくく、1階を親世帯、2階を子世帯とした2世帯住宅にも最適です。さらには2階の位置が通常の2階建ての家よりも高くなるのでプライバシーが確保し易くなり、視界も大きく開けます。「大収納」で家の高さが増すことにより、快適な住環境が実現します。

大収納は床面積に含まれないボーナス空間

通常、収納スペースは床面積に算入されますので、収納を大きくすると他の居室が犠牲になったり、建物もそれなりの大きさが必要であったりしました。しかし「大収納」空間は床面積に算入されないため、定められた容積率を最大限に活用しつつ別に大きな収納空間を確保することができます。

地域により容積率に算入される場合もあります。

「大収納のある家」は丈夫な新世代ハウス

耐震性能は、耐震実大実験（2005年3月実施）によって震度7クラスの地震に3回被災させてもほとんど損傷しないことが実証された「新世代ハウス」です。「新世代ハウス」は旧建設省が開発し、(財)日本住宅・木材技術センターにより認定された木造住宅供給支援システムによる高品質な住宅です。性能面では品確法に対応、住宅性能表示制度において主要6項目（倒壊防止、損傷防止、耐風、劣化対策、維持管理、空気環境）で最高ランクを満たしており、保証面においても施工前の全棟地盤調査の実施、施工中での第三者機関による工事検査、さらには引渡し後の定期的アフターメンテナンスや財団法人住宅保証機構による10年性能保証などが盛り込まれています。

伊丹展示場所在地

〒664-0025 兵庫県伊丹市奥畑4-33（ABCハウジング 伊丹・昆陽の里住宅公園内）
TEL 072-773-6201 FAX 072-773-6202

新春ドリームフェア

2月28日まで開催。期間中にご成約の方へのプレゼントとして、暮らしをもっと便利に快適にする「家電プラス」、安心・安全仕様の「防犯プラス」「耐震プラス」、さらに外観の美しさをグレードアップする「外観プラス」の4つのコースの中から好きなコースを1つお選びいただけます。

コースA：「家電プラス」

- ・足元から暖める、タイマー機能付き床暖房（6帖用）
- ・食後の後片づけをスピーディーに、水道代も節約できる自動食器洗浄乾燥機

コースB：「防犯プラス」

- ・強度に優れた中間膜をはさむことで、ガラス破りにも強い防犯ペアガラス。
- ・ライトの点灯で、侵入者を威嚇するセンサーライト

コースC：「外観プラス」

- ・自然石の風合いを取り込んだアースデザインの屋根材

コースD：「耐震プラス」

- ・消防法改正で6月より完全義務化、火災の発生を警報音で知らせる住宅用火災警報器。
- ・地震を感知したときや停電時に自動点灯する感震保安灯。
- ・扉についた耐震ラッチで食器の飛び出しを防ぐカップボード。
- ・いざというときに家具や食器棚の転倒を防ぐ、強い味方の耐震グッズ（耐震ポール、耐震ゲル、耐震金具）。

以上

写真データは下記URLよりダウンロードすることができます。

URL：<http://www.aqura.co.jp/news.html>

<本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越

Email：horikosi@aqura.co.jp TEL：048-631-3020（ダイヤルイン） FAX：048-631-2334

消費者からのお問い合わせ先に関しましては伊丹展示場の記載をお願いいたします。

以下資料ページ

住宅購入後に最も不満になるのが「収納スペース」(意識調査結果)

アキュラホームでは2005年6月にインターネットによる住宅に関する意識調査を実施したところ、「収納」に関する興味深い調査結果が得られました。

ひとことで言えば、購入前はあまり意識されないが購入後に大いに不満になるのが収納スペースであること。購入前に収納スペースは十分に検討しなければ満足できる住宅購入にいたらない可能性が高いということです。大きな要因としては居室のスペース確保にどうしても意識が行き勝ちになっていることが考えられます。

追加費用を払ってでも欲しい住宅設備は何ですか？

住宅購入「前」	住宅購入「後」
第1位 システムキッチン(11.2%)	第1位 太陽光発電(11.9%)
第2位 ウォークインクローゼット(10.8%)	第2位 大規模収納スペース(11.5%)
第3位 ブロードバンド環境(7.8%)	第3位 オール電化(9.4%)
第4位 防音室(7.8%)	第4位 ウォークインクローゼット(9.0%)
第5位 太陽光発電(7.3%)	第5位 対面式キッチン(7.4%)

対象：「持家一戸建て(3年以内購入者)」世帯主もしくは配偶者 250名、「賃貸」世帯主もしくは配偶者 250名 合計500名

アキュラホームについて

「日本の住まいを安くする」事をミッションとした木造住宅供給に取り組んでいるビルダー。埼玉を中心に年間531棟(2004年度実績)の販売実績を持つ。2005年1月には兵庫県の明石に展示場を出店。同年春には大阪、浜松、東京、秋には横浜、姫路、広島に展示場を出店、現在の展示場数は全国24ヶ所となっている。また、弊社社長宮沢俊哉は、官民一体で活動する「埼玉県住まいづくり協議会」の会長を務め、埼玉県の住環境の向上に積極的に取り組んでいる。

アキュラホームでは、これまでの住宅事業の中で培った経験や技術力を活かして住宅建築合理化システム「アキュラシステム」を開発し、これを駆使することでお客様本位の高品质でありながら坪30万円以下で建築可能な注文住宅を提供し続け、業界をリードしている。また、全国の地域ビルダー・工務店約606社によるネットワーク「JAHBnet(ジャープネット)」「旧アキュラネット」を主宰し、そのスケールメリットを活用して、高品質ながら低価格の住宅の開発と全国展開、さらに保証などの安心の制度を導入している。特に、2001年に坪21万円からというローコスト住宅「M21」で話題になって以来、高気密高断熱(次世代省エネ)住宅「はるの」、太陽光発電搭載住宅「HYUGA」、オール電化住宅「KIREI」、などを相次いで坪30万円以下で発売し話題を集めた。2004年度のジャープネット年間供給実績は8213棟で、住宅業界全体でもベスト10にランクインしている。

こうした全国工務店の活性化につながる活動は、国や官庁からも注目を集めている。その一例として、アキュラホームは経済産業省のプロジェクト「次世代省エネ住宅普及促進研究会」に招聘される。その研究成果として「次世代住宅普及ビジネスモデル開発商品“はるのSi”」を坪単価25万円から発売して、普及価格帯の次世代省エネ住宅実現に貢献した。また、2005年10月には自らのIT活用に加え、遅れている住宅建設業界でのIT活用に顕著な貢献があったということで「経済産業大臣表彰」を受章した。最近では東京都による「住宅価格3割引き下げ実証実験」の事業予定者に圧倒的な低価格提案(他提案が2/3に引下げるなか1/2の価格を提案)をもって選定されている。

<アキュラホーム会社概要>

社名	株式会社アキュラホーム
代表取締役社長	宮沢俊哉
所在地	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-10-16 シーノ大宮ノースウイング15階
電話	048-631-2333(代)
創業	1978(昭和53)年9月
資本金	9,314万円
従業員数	307名(2005年4月1日現在)
事業	建築工事・設計施工・販売、住宅総合研究・開発・コンサルティング
売上高	107億円(2005年2月期)
ホームページ	http://www.aqura.co.jp